

## 成人・老年看護学実習Ⅱ（慢性期・終末期）（2単位）

### 1. 実習目標

#### 1) 実習目標

成人期・老年期の患者・家族を総合的に理解し、慢性期・終末期にある患者の看護を実践できる基礎的能力を養う。

#### 2) 行動目標

##### 【慢性期】

- (1) 慢性的経過をたどる患者の病態と治療について関連づけて述べる。
- (2) 慢性的経過をたどる患者に治療が及ぼす影響を考え統合し述べる。
- (3) 患者・家族が健康障害を受容していく過程について述べる。
- (4) 必要な治療計画を生活の中に取り入れられるような支援を実施する。
- (5) 必要な治療を継続できるようなソーシャルサポートについて述べる。
- (6) 急性増悪の予防に向けて必要な継続的な観察をする。
- (7) 慢性的な健康障害を有している患者のQOL向上に向けた支援を実施する。

##### 【終末期】

- (1) 終末期にある患者の全人的苦痛を理解し、緩和方法を考え実施する。
- (2) 死の受容過程を理解し、その人らしく過ごせる支援を考え実施する。
- (3) 看取りをする家族をチームで支援することの重要性を述べる。

##### 【全体】

- (1) 他の看護医療チームとの連携や継続看護の必要性を述べる。

### 2. 実習方法

- 1) 病棟・透析室で実習を行う。
- 2) 慢性期・終末期にある患者を受持ち、個別性を考慮した看護を行う。

### 3. 留意点

- 1) 事前に担当教員よりオリエンテーションを受ける。
- 2) 実習初日に病棟オリエンテーションを受ける。
- 3) 学生主体で毎日カンファレンスを行い、学習体験の共有と疑問の解決を図り、学びを深め、広げる。実習5日目までに中間カンファレンスを実施する。実習終了日は、実習での体験とカンファレンステーマを関連づけて終了カンファレンスを行う。
- 4) 実習終了後に、実習での学びをレポートにまとめる。